

徳島県社保協運営委員会報告書

2023年3月10日（金）16：00～17：10

出席： 山本正、藤榮、楠藤温、植本、山本浩、楠藤義

欠席： 富田、伊吹、竹田、見渡、伊藤、上村、井上、

■報告事項

1. 中央社保協オンライン連続学習会（18：00～）

3/15（消費税は社会保障の財源なのか）、4/5（社会的危機の歴史背景と闘いの方向）がまだ受講可能です。フォームから社保協に申し込みを。YouTubeでも配信されます。

2. 大軍拡・増税に NO ミニリーフご利用ください

リーフデータを添付しますので、学習などにご利用ください。

3. 中央社保学校 from 岡山 9/16, 17 オンライン併用

- ・シンポジウムテーマ：生活保護基準引き下げ違憲訴訟で何が問われているのか
問題提起&コーディネーターとして、いのちのとりで裁判岡山弁護団、発言者として原告、林病院 PSW、広島県立大志賀准教授らが登壇します。
- ・徳島からも沢山オンライン参加できるよう、今から予定を入れておいてください。

4. 健康保険証の廃止法案国会提出(3/7)、閣議決定

- ・3/10 緊急 Twitter デモ&国会前アクション
- ・オンライン署名は2万筆突破で気候の声が続出しています。
- ・週刊新潮には、河野大臣がマイナカード落としても悪用されないと嘘の内容を断言したことなど、マイナカードの情報漏洩の危険性に関する特集が組まれました。
- ・東京保険医協会会員の医師ら274人がオンライン資格確認の義務化が違法であると国を提訴しています。
- ・岡山県備前市ではマイナカード取得している家族だけが給食費無料になり、取得していない家族は無料にならないという報道がされ全国的に問題になりました。また市営バスでもマイナカードがある人の見無料サービスが受けられるとの報道もありました。徳島ではそのようなことがないように、注視し早く情報をつかんで対応しましょう。

5. オンライン資格認証義務化

東京の保険医協会からよびかけ

6. 2022年度会費徴収しない

- ・(提案)今年度は活動がほとんどできず、支出が少ないこと、前年度繰越金が46万余りあり、現金残高が増えすぎることを理由として、2022年度は会費を徴収しないこととし、2023年度より通常の請求をしたい。
- ・(意見)まだ請求されていない分担金などで、今わかっていない出費がないのであれば問題ないと思う。徴収しないのが今年度のみということを確認すればそれでよい。現在でも2年分の会費に相当する額がプールされているので、たちまち資金不足になることはないと思われる。

※今回出席委員が過半数に達しないので、決定は次回とします。

■各団体報告

【労連】全医労を中心としたスト支援をしました。徳島病院の小児科を東徳島病院へ移すという提案も出ています。また、国立病院機構の積立金1,700億の積立金のうち400億を軍事費のた

めに国が取り上げました。全部取り上げられなかったのは運動の成果とも言えますが、看護師の給与が一定年齢で頭打ちになることなどの改善は26億、非正規の労働条件改善は2億でできるといいますが、それについては一切手が付けられておらず、軍事費に400億使われたことには怒りを覚えます。民間では大手が3月15日ごろに春闘の回答をしますが、下請では回答を出すことができないといっています。

【建交労】アスベスト相談会を県内各地で開いています。新聞折り込みで問い合わせは少しありますが、被災した場所の特定が難しいため補償につながらないことが多いようです。

【年金者組合】年金が0.4%引き下げられることは許されないということで、3月末まで署名の取り組みをしています。組合員1人1筆で、現在300筆ほど集まっています。75歳以上の医療費負担が2割になり病院にかかれぬ高齢者が増えており、怒り心頭です。また徳島県で高齢者の加齢難聴が多いですが、四国では補聴器購入の補助をしている自治体がありません。補聴器購入補助を自治体に求めて陳情書を出し採択されることを目標としています。陳情に際して自分たちも説明する力をつけるため学習会をしました。陳情書の提出時期は未定ですが、社保協のキャラバンと一緒に自治体を訪問して提出したいと思っています。組合員が高齢で施設に入ったり、体調不良で集まず退会も多くなっているため、組織強化にも取り組んでいます。

【保険医協会】県知事選に向けて候補者アンケートを実施しています。医療介護以外のこと（平和住民の暮らし・安全の確保についてという項目を指している）が入っているので回答を差し控えたいと後藤田陣営には断られました。結果はホームページに公開します。補聴器補助要請も行っています。

【健康生協労組】コロナ禍の3年間は仕事の厳しさに比べて、賃上げができていない医療・福祉事業の厳しさがありました。その現状を世論としてアピールしていく必要があります。この間国や県の求めに応じて一生懸命やってきているのに、事業経営がままならず職員の賃金が上がらないなど、あってはなりません。分断をもたらす中途半端な補助金ではなく、診療報酬をしっかりと上げて事業運営できるように求めていくことが必要です。それをどう伝えていくかが今求められていると思います。まともな賃金を払ったら事業経営ができない事業主の経営状況を労働者の実態と一緒に世論に訴えていく取り組みを、この春闘の中でしていきます。今年は単組ではストライキをせず国立病院機構のストライキに合流しました。4月は12～13日に医労連が全国的に呼びかけているアピール行動に合流します。コロナ感染拡大直後のように、メディアは医療機関に注目しないので、自分たちでメディアに訴え、見える化することが大事と考え、プラスターを作って写真をとりTwitterデモに取り組み始めています。また非正規の賃金が低いことの問題点を世論に訴えるための情報収集をしています。

【健康生協】医団連の事業所の団体署名を実施中です。

【民医連】医療介護従事者が低賃金で生活が大変です。診療報酬と介護報酬を引き上げ、介護事業所に物価高騰対策支援を。ナースアクションとして、働く場所によって不公平が起きていることについて抜本的に変えることを求める個人署名と団体署名、医団連の署名を県下の医療機関に郵送して協力を求めます。コロナ対応病床への補助金も半減することが決まっている。3.11駅前行動にも皆さんご参加ください。

■次回4月14日（金）16：00～17：00 ZOOM開催予定

ミーティング ID: 846 3876 8321

パスワード: 655268

※出席のため調整をいただくとともに、どうしても出席できない場合は必ず連絡をお願いします。